【 検査 】**317 成人スチル病（疑い含む。）に対するフェリチン定量・半定量の算定について**

《令和6年10月31日》

○ 取扱い

成人スチル病（疑い含む。）に対するD007「25」フェリチン定量・半定量の算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

成人スチル病診療ガイドライン 2017年版（2023年 Update）（厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業、自己免疫疾患に関する調査研究班）において、診断、鑑別に有用な血液検査所見として血清フェリチン値（基準値上限の5倍以上）が特徴的検査所見として提案され、活動性の評価に有用とされている。また、フェリチン高値（3,000 ng/ml 以上）は重症度スコアリングの一項目とされており、指定難病（054）の臨床調査個人票における検査所見の記入項目の一つに血清フェリチン値があげられている。

以上のことから、成人スチル病（疑い含む。）に対するD007「25」フェリチン定量・半定量の算定は、原則として認められると判断した。